

# ぎかい 1 だより



390年の伝統 羽生てんのうさま夏まつり (7月14日)

9P	8P	4~8P	2~3P
審議案件と結果	議案に対する質疑 全国市議会議長会表彰	市政に対する一般質問	市長の所信表明と 主な質疑

## 6月定例会市議会



宵宮 (7月13日)

# 6月定例市議会開く

## 河田市長の所信表明と主な質疑

平成30年6月定例市議会は、6月14日から7月3日まで20日間の会期で行われました。今定例会は、市長四選後初めての定例会であり、市長の所信表明が行われたほか、平成30年度羽生市一般会計補正予算など5議案が上程され、いずれも原案のとおり可決、承認されました。

市長の所信表明の要旨及び7人の議員によって行われた質疑・答弁は次のとおりです。

### 所信表明(要旨)



所信表明を行う河田市長

四期目となる市政の経営にあたり、三期12年間の経験を活かし、「市民が主役のまちづくり」を基本として、「誰もが幸せを感じ、住み続けたいと思えるまちづくり」を行っていききたい。

そのため、引き続き次の3つの目標を掲げ、取り組みを進めていく考えである。

①日本一魅力ある羽生市を目指す

市民がふるさと羽生に誇りと自信をもち、住み続けたいと思えるまちづくりを行っていききたい。

羽生市は、水と緑に囲まれた自然豊かなまちである。市民意識調査においても、市民が望む将来都市像は、「福祉の充実した都市」や「子育てにやさしい都市」に次いで「水と緑あふれる田園都市」を求めている。そのため、都市と田園の調和した人にやさしい特徴あるまちづくりを行っていく。

②単独での自主自律を目指す

時代に的確に対応した行政サービスの継続するため、限られた財源と職員400人体制のもと、効率的な行政経営を行っていく。

また、公共施設の維持管理費が大きな財政負担となることが予想されるため、施設の統廃合や複合化など、施設配

置の適正化と経費の平準化を図っていく。

さらに、将来の大きな財政支出に備えるため、財政調整基金や公共施設修繕引当基金の積み増しのほか、清掃センターの建替えに向けた一般廃棄物処理施設整備基金の計画的積立を行っていく。

③観光交流人口100万人を目指す

羽生市には、多くの地域資源があり、これらを活用し、また、掘り起こし、市のにぎわいづくりを振興して、観光交流人口100万人を目指していく考えである。

農業分野においては、地域や民間事業者が連携した「儲かる農業」への転換を図っていききたい。そのため、羽生チヤレンジ・ファームとして、核となる企業等を誘致し、イチゴや果樹などの摘み取り体験のほか農産物の生産から加工・製造・販売まで行う6次産業化の実現に向け取り組んでいききたい。

世界キャラクター・さみっとは、内容を工夫し、来てよかったと思えるサミットにしていく。

### 所信表明に対する質疑

#### 丑久保 恒行 議員

・主な質疑 英語教育において、小学校のALT(外国語指導助手)を増員し外国語教育の充実を図るとのことだが、増員計画について伺う。

(答弁)

・今年度、1名を増員し、現在、小学校には7名のALTが勤務している。配置先は、岩瀬小学校、村君小学校にはそれぞれ1名が週5日常駐している。また、それ以外の小学校には、1校あたり、週に2日から3日配置している。

新学習指導要領の改訂による小学校5・6年における外国語の教科化や、3・4年における外国語活動の2020年度全面実施を見据え、全小学校にALT1名が常駐できるように計画的に配置していきたい。

#### 島村 勉 議員

・主な質疑 羽生チャレン



ジ・ファームについて、核となる企業等を誘致し、摘み取り体験や6次産業化の仕組みを作るとのことだが、民間企業参入の見込みと、中心となる農産物について、また、来園者の見込みと、採算ラインについて伺う。

(答弁)

・優位性の非常に高い立地条件であり、広大な土地が確保できるとなれば、民間企業の参入は十分見込めるものと考えている。中心となる農作物は、家族連れを中心に、女性や高齢者の方にも人気があり、比較的長く収穫体験ができ、1年を通してジャム作りなどの加工体験もできることなどから、イチゴを想定している。来園者は年間10万人を目標とし、採算ラインについては、今後、参入企業と意見交換する中で設定していきたい。

峯崎 貴生 議員

・主な質疑 目標「日本一魅力ある羽生市を目指す」取り組みについて、羽生市は、水と緑に囲まれた自然豊かなまちであり、都市と田園の調和

した人によさしい特徴あるまちづくりを行うとあるが、その内容について伺う。

(答弁)

・「都市と田園の調和」とは、農業の振興と都市部の開発をきちんとすみ分けし、共生していくことと認識している。「やさしい特徴あるまちづくり」とは、人によさしいまちづくりであり、ハード面では、ユニバーサルデザインの考えに基づいたバリアフリー化などを推進していきたい。ソフト面では、市民の癒しとなるような取組みをやさしさにとらえ、市民生活に心の潤いをもたらせるようなまちづくりを目指していきたい。

保泉 和正 議員

・主な質疑 市内への企業誘致等を引き続き推進することだが、今後の具体的な内容について伺う。

(答弁)

・今年度から第6次羽生市総合振興計画に新たに国道沿線を中心とした企業誘致検討ラインを設定し、市内への企業誘致を進めている。

具体的には、国道122号西側、上岩瀬地区において、県企業局による産業団地整備の早期実現に向け関係機関との協議を開始するとともに、近隣の岩瀬土地区画整理事業北工区においても、工業系の土地利用への変更について検討をはじめている。また、個々の企業ニーズに応じた用地の確保を図る「オーダーメイド型の企業誘致」の検討など、きめ細かな支援を行っていきたいと考えている。

阿部 義治 議員

・主な質疑 限られた財源と職員400人体制のもと、効率的な行政経営を行うとのことだが、職員400人体制の今後と、行政需要の変化に対応した組織改革の考え方について伺う。

(答弁)

・第4次定員適正化計画に基づき、平成31年度までは、実働400人体制を継続していきたい。

平成32年度から、地方公務員法等の改正により、臨時職員の雇用形態を大きく見直す

ことが必要となるため、平成32年度以降の職員数については、様々な要素を勘案して判断していきたい。

組織機構の見直しについては、行政需要に効果的かつ的確に対応できるよう必要に応じて柔軟に実施していきたい。

柳沢 暁 議員

・主な質疑 羽生市における平成28年度の合計特殊出生率は1.15人であり、全国は1.44人、埼玉県の1.37人と比べても低い数値となっている。出生率を向上させるための具体的な施策について伺う。

(答弁)

・出生率を向上させるため、結婚・出産・子育て支援について、次のような施策を展開していきたい。

結婚相談事業を推進するとともに、妊娠期から子育て期にわたり、切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センターを新たに設置し、安心して出産・子育てが行える環境を整えいきたい。また、インフルエンザ予防接種事業の

継続や、国が定める自己負担の保育料よりも低い保育料の設定など、子育て支援を推進していきたい。

野中 一城 議員

・主な質疑 羽生インターチェンジ前、東武鉄道車両基地予定地については、関係機関と連携し前進させたいとのことだが、現状と今後の取り組みについて伺う。

(答弁)

・羽生インターチェンジ前については、現在、北荻島開発協議会と意見交換を行っており、開発計画や地権者の合意形成、企業訪問などを行っていると伺っている。今後は、具体的な事業計画などお示しいただいた後、国や県などの関係機関と、協議、調整していきたい。

東武車両基地予定地については、鉄道関連事業以外への計画変更は容易ではないと伺っている。今後は、東武鉄道側から計画案が示され次第、国・県との協議・調整を行い、新たな土地利用について全力で取り組んでいきたい。

# 市政に対する 一般質問

## そこが… 聞きたい



一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。

今期定例会では、6月25日、26日の2日間にわたり8人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

### 公共施設の統廃合について

中島直樹議員

・質問 過去二回の私の公共施設の統廃合に関する一般質問において、担当部長は、「公共施設最適化検討プロジェクトの報告書内容を参考にして統廃合を行っていく。」と答弁し、市長は、「公共施設の老朽化が市財政を逼迫させることについて、危機感を持っている。」と答弁した。平成30年3月に中堅職員らによる公共施設最適化検討プロジェクトの報告書が市長に提出されたことにより、公共施設の統廃合についての検討は一段落したように思える。公共施設の統廃合に向けた今後の具体的なスケジュールについて伺う。

・答弁 (企画財務部長)



市民プラザ

公共施設最適化検討プロジェクトの報告書は、各施設を分類し、効率的かつ効果的な配置や運営、維持管理等に関する課題を整理したものである。この報告書の内容を参考にしながら、公共施設の存続、廃止、集約化、複合化、さらには移転も含めて検討していく。また、個別施設ごとの長

寿命化計画や個別施設計画を平成32年度までに策定する予定である。

今後は、個別施設計画案をたたき台にして、有識者、各団体及び議員等を集めた検討委員会等を発足させ、公共施設の配置や、コスト比較、財政負担等について十分に検討を行い、短期、中期的なスケジュールまで盛り込んだ計画の策定を進めていきたい。ただし、清和園の民間移譲や旧し尿処理場撤去の検討など、個別施設計画を待たずして、着手できるものについては積極的に取り組んでいく。

広報はにゅう6月号に、当市の公共施設の現状と今後の在り方についての特集記事を掲載した。また、今後開催される市民座談会において、広報紙に掲載した内容の説明を行うとともに、市民の皆様からの意見をいただく予定である。財政負担の軽減を図るため、市の人口減少や市民ニーズを見極め、公共施設の最適化に取り組んでいきたい。

#### その他の質問

・学校体育館の管理について

議会の詳細は市議会ホームページをどうぞ

羽生市議会ホームページでは、市議会の概要をはじめ、定例会や臨時会の本会議で行われた一般質問や議案質疑の内容、政務活動費の収支報告一覧などを公開しております。また、議会のインターネット中継もご覧いただけますので、是非ご利用ください。

### 議会インターネット中継をご利用ください。

<http://smart.discussvision.net/smart/hanyu/>



こちらのQRコードからもアクセスできます。

# 旧羽生総合病院跡地の現状と今後の活用について

本田 裕議員

・質問 旧羽生総合病院跡地は、解体し更地にして、市に返還されることになっているが、次の点について伺う。

- ①減歩分を差し引いた跡地の公示価格を基にした資産価値について
- ②市有財産の取り扱いに対する市の考え方について

③旧羽生総合病院解体後の跡地の活用にあたっての現在の決定事項及び今後の計画について

- ・答弁 ①③まちづくり部長、②企画財務部長
- ①外周道路部分を除いた土地面積1万3,506㎡が仮換地の対象となる。岩瀬土地

画整理事業の平均減歩率を30・58%とした場合、減歩後の換地面積は約9,370㎡となる。1㎡当たりの不動産鑑定評価額3万5,400円を参考に算出すると、評価額は約3億3,000万円となる。

②市所有の未利用地については、行政のスリム化や効率化、財源確保の観点から、競争入札による処分や貸し付けを実施している。旧病院跡地については、岩瀬土地画整理事業の北工区に位置していることから、岩瀬土地画整理組



解体が進む旧羽生総合病院

合と十分な調整を行い、企業誘致に向け効果的な方法を考えていきたい。

③旧病院跡地利用は、岩瀬土地画整理事業に大きな影響

をおよぼすため、岩瀬土地画整理組合と検討を進めている。第6次羽生総合振興計画の土地利用構想において、工業系・流通系ゾーンに位置づけていることから、企業などから高い土地需要が見込まれる工業系、流通系企業の誘致を進めていきたい。

## その他の質問

・徘徊行動者の早期発見への対策について  
・東武鉄道伊勢崎線の踏切改善に向けた市の取組について

# 見守り活動等による通学路安全対策強化について

野中 一城議員

・質問 通学路の安全対策について、次の点を伺う。

- ①市の見守り活動等の状況について
- ②児童生徒への防犯・安全教育実施について
- ③地域住民への見守り活動等の参加依頼について
- ④市の今後の防犯対策及び通

学路安全対策強化推進について

- ・答弁 ①②学校教育部長、③④総務部長
- ①登下校時の見守り活動は、各地区の防犯ボランティア、スクールガード・リーダー、学校応援団、PTAの方々などの協力により、立しう指



導や付き添いの活動を全小中学校で行っている。

②児童生徒には、さまざまな機会を捉え、危険予測能力や危険回避能力を身に付けさせるため、全校集会や一斉下校

時、帰りの会等で注意喚起をするなど、日常的に声掛けを行っている。また、各学校等

において、全児童への防犯ブザーの配布や、警察や警備会社の指導による防犯教室や防犯訓練の実施、不審者が出た際の情報の共有などの取り組みを行っている。

③散歩の途中や庭先などからの見守り、不審人物の警察への通報などを広報紙など利用し、日頃からできる防犯活動

について周知していきたい。

④防犯対策については、市内36団体で組織する羽生市防犯のまちづくり推進協議会による啓発やパトロール活動を実施するとともに、地域住民やPTAなどで構成された防犯団体の協力により子どもたちの安全・安心を守っていきたい。また、通学路の安全対策強化推進については、毎年、各学校の教職員やPTA、学校応援団などが協力し、通学路の危険個所の点検を行っており、引き続き登下校時の子どもたちの安全を確保していきたい。



# ごみ集積所やごみ処理

## 改善について

柳沢 暁 議員

- ・質問 「可燃ごみは近くの集積所に出せるが、不燃ごみは集積所が遠くて出せない。5月1日から清掃センターへの少量の持ち込みができなくなり困っている。」との声がある。次の点について伺う。
- ①少量のごみの直接持ち込みをお断りとした経緯や周知方法、理由について
- ②ごみを直接持ち込む方の理由について
- ③集積所の新規設置の周知方法について
- ④ごみ排出困難者へのごみ収集の検討状況について
- ・答弁 (経済環境部長)
- ①周辺道路の混雑解消とセン

ター敷地内でのごみの荷おろし時の市民の安全性を確保する理由から、少量のごみのセンターへの直接搬入は遠慮していただいた。周知方法については、広報紙やホームペー

②ごみを直接持ち込んだ方にアンケート調査を実施した結果、持ち込む理由は、ごみが多いが22%、集積所の指定時間内に出せないが17%、いろいろなごみが一度に処分でき



市内のごみ集積所

るが16%であった。大半は自己都合による持ち込みと判断している。

③ごみ集積所の新設等について

ては、定期的に広報紙を通じて周知に努めるとともに、自治会長に対しても、会議等を通じて周知していきたい。

④現在、先進自治体の事例調査を実施している。今後は、国の高齢化社会に対応した廃棄物処理体制の構築の検討結果を踏まえ、羽生市にあったごみ処理体制の構築を検討していきたい。

・その他の質問  
国民健康保険税、多子世帯の支援について

# 羽生市のごみ処理の

## 状況について

阿部 義治 議員

- ・質問 自然環境の悪化を抑えるため環境負荷の少ない循環型の社会の実現が求められている。次の点について伺う。
- ①市民1人1日当たりのごみ排出量と今後の動向について
- ②リサイクル率の状況と今後の取り組みについて
- ③将来のごみ排出量抑制の取
- り組みについて
- ・答弁 (経済環境部長)
- ①平成28年度における市民1人1日当たりのごみ排出量は、980g、前年度と比較して1.6%増加している。
- 今後の動向については、市民1人1日当たりのごみ排出量は平成25年度と比べ36g増

加していることから、ごみの増加を抑制し減量につなげることが重要な課題である。

②平成28年度における羽生市



のリサイクル率は、25.3%、前年度と比較して1.2%減少している。

これまでと同様の品目で、分別を進めていくが、特に雑紙の分別の徹底を図っていきたい。また、新たな分別品目として、剪定枝葉や雑草など、緑のリサイクルの可能性について検討していく。

③市民1人1日当たりのごみ排出量の目標値は、目標年度の平成37年度に、平成27年度と比較して、約10%の減、865g、リサイクル率は、24.

この目標を達成するため、ごみの資源化(リサイクル)、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、ごみとなるものを断つ(リフューズ)の4Rをクリーン推進員と連携を図りながら推進し、ごみの減量に努めていく。

・その他の質問  
介護保険事業について

# 中央公園の

## 民間活用について

峯寺 貴生 議員

・質問 公園の管理運営は、行政、民間、市民が連携して行うことが望ましいと考える。次の点について伺う。

- ①中央公園の現状と指定管理者制度の今後の進め方について
- ②運営における民間と行政のかかりについて
- ③PARK-PI制度活用

の見解について

・答弁（生涯学習部長）

- ①中央公園は、一般の利用や、市主催事業、スポーツ関連団体が行う行事、市内小・中・高校等の行事など、多種目で利用されており、昨年度は約6万2千人あまりの方に利用されている。

中央公園は、現在、市で管理運営を行っているが、平成32年度からの指定管理者制度

実施に向け、今年度は、各種団体等から意見をいただきながら、他自治体の状況などの情報を収集し研究、検討を進めていく。

- ②民間業者が持つ専門的な知識を活用することにより、利用しやすく、経費の削減も期待できるため、民間活用について研究していく。
- ③PARK-PI制度とは、飲食店や売店等の設置と



羽生中央公園

当該施設から生じる利益を活用して、公園施設の整備・改修等を行う者を公募により選

定する制度である。都市公園に民間投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上や公園利用者の利便性の向上も期待できるため、今後、指定管理者制度を導入する上で、関係機関と協議を重ねながら、内容や先進事例について、研究していく。

### その他の質問

・調整池の景観資源活用について

# 市内小・中学校の プール利用等について

永沼 正人 議員

・質問 ①館林市や国道50号線沿線などに位置する自治体の小中学校では、プールからシャワーヘッドや洗眼用水栓などが盗難される事件が頻発している。市内小中学校の防犯対策、特に夜間の警備状況と、プール周辺での防犯対策について伺う。

②市内小中学校の夏季休業中のプール開放日の推移と、今年度の着衣水泳の実施状況について伺う。

・答弁（学校教育部長）

①市内全小中学校に、防犯カメラを設置し24時間監視を行っている。また、防犯カメラ監視中の看板も合わせて設置



学校プール

している。  
夜間に不審者等が校舎に侵入した場合は、警報装置が作

動し、警備会社に通報され、その後、警察や校長等に連絡が入ることとなっている。  
プール出入口は、利用時以外は施錠してある。また、出勤時におけるプール周辺の見回りを今後も引続き実施していく。  
②平成25年度から平成30年度までの夏季休業中のプール開放日は、小学校では、毎年平均7日間から10日間、中学校では、東中学校を除き、毎年平均5日間から7日間である。プール開放日の割合は、わず

### その他の質問

・羽生駅入口（東）交差点歩車分離信号について



# 今後の社会保障費について

丑久保 恒行 議員

・質問 65歳以上の高齢者が今年度から3年間支払う月額介護保険料は、全国平均で、5,058円となり、介護保険制度がスタートした2000年当時の2倍を超え、高齢者人口がピークに近づく、2040年度には約9,200円に上昇するとの推計が出ている。一方、介護予防の効果が出て、介護保険料の引き下げに踏み切った自治体もあった。次の点について伺う。

準月額額は5,344円で、その前の3ケ年は4,717円であった。今年5月に国の経済財政諮問会議が示した将来の介護保険料から10年後を推計すると、約7,000円となる。

①羽生市の高齢化率と介護保険料の推移について  
②市の施策（いきいき百歳体操）の効果について  
③今後の市の生きがい対策について

②いきいき百歳体操は、5地区20会場で開催され、指導役の介護予防サポーター173名、参加者638名の方々が活動しており、筋力やバランス感覚の向上が図られ、介護予防や健康寿命の延伸に寄与していると捉えている。

・答弁（市民福祉部長）

①羽生市の高齢化率については、平成10年4月は15・83%、平成30年4月は28・11%、平成37年10月の推計は32・40%となっている。羽生市の今年度から3ケ年の一人当たり標



③生きがいを持って暮らすためには、社会での役割があり、頼られているという存在意義を感じられることや、趣味などが必要であると考える。そのため、長年培ってきた知識

## 議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めるものです。今期定例会では、次の議員によって行われました。

柳沢 暁 議員

○議案第52号 平成30年度羽生市一般会計補正予算（第1号）

・質疑 生活保護システム等改修委託料について、改修の内容と影響を伺いたい。

・答弁（市民福祉部長）

改修の内容については、国の生活保護基準の見直しに伴うものであり、平成30年10月から生活保護基準である生活扶助基準の年齢階層及び基準額の見直し、児童養育加算の減額及び対象者の拡大、母子加算の減額、教育扶助・高等

や経験を生かし、社会的な役割や生きがいを持って健やかに暮らしていただけるよう、今後も高齢者の活躍の場づくりに努めていく。



生活保護相談窓口（社会福祉課）

学校等就学費及び就労自立給付金の見直し、進学準備給付金が創設されたことに対応するためのシステム改修である。また、この基準の見直しにより、4月末現在の生活保護受給世帯400世帯のうち、343世帯が影響を受け、生活保護費は、平成30年10月か

ら平成31年3月までの6ヶ月間で、全体で約240万円の増額となる見込みである。

## 全国市議会議長会表彰

去る5月30日に開催された全国市議会議長会定期総会において、市議会議員の表彰が行われ、羽生市議会議員では、議員20年の永年表彰として永久保恒行議員、議員15年の永年表彰として松本敏夫議員、議員10年の永年表彰として永沼正人議員が表彰を受け、6月14日の本会議において、議長より表彰状の伝達式が行われました。



左から、永沼議員、丑久保議員、斉藤議長、松本議員



### 6月定例会 審議案件とその結果

#### ●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

薫風会…薫風 拓政会…拓政 公明党…公明 日本共産党…共産 無会派…無派 【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠】

議案番号	議案名	薫風						拓政		公明		共産		無派		審議結果
		本田裕	峯寄貴生	永沼正人	奥沢和明	根岸義男	松本敏夫	丑久保恒行	島村勉	保泉和正	野中一城	斉藤隆	柳沢暁	阿部義治	中島直樹	

#### 市長提出議案

第51号	専決処分承認を求めることについて（羽生市税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	承認
第52号	平成30年度羽生市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	原案可決
第53号	羽生市都市計画税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	原案可決
第54号	羽生市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案可決
第55号	羽生市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	原案可決

※斉藤隆議長は採決に加わりません。

※9月定例会市議会の日程は、8月31日（金）に開催予定の議会運営委員会で正式に決まりますので、変更になる場合もあります。

月日	曜日	時刻	内容
9月28日	金	午前9時30分	本会議最終日（閉会）
9月27日	木		事務整理等のため休会
9月25日	火		
9月24日	月		休日のため休会
9月23日	日		
9月22日	土		各常任委員会
9月21日	金	午前9時30分	
9月20日	木	午前9時30分	各常任委員会
9月19日	水	午前9時30分	
9月18日	火	午前9時30分	各常任委員会
9月17日	月		
9月16日	日		休日のため休会
9月15日	土		
9月14日	金	午前9時30分	本会議（市政に対する一般質問）
9月13日	木	午前9時30分	
9月12日	水	午前9時30分	本会議（議案に対する質疑）
9月11日	火	午前9時30分	
9月10日	月		議案調査等のため休会
9月5日	水		
9月4日	火	午前9時30分	本会議初日（開会）

9月定例会市議会は、左記のような日程で予定されています。

月	火	水	木	金	土	日
			8月30日	31	9月1日	2
ニコニコのリカップ						
3	4	5	6	7	8	9
9月24日	25	26	27	28	29	30
スカパー！・JLC杯戸田ルーキーシリーズ						
10月1日	2	3	4	5	6	7
スカパー！・JLC杯戸田ルーキーシリーズ						

※埼玉県都市競艇組合主催のみ掲載しております。

#### ◆開催日◆

県内15市で構成する都市競艇組合の収益金の一部は、毎年構成各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。平成29年度は、5千万円の交付金がありました。

#### ボートレース戸田

# 各常任委員会の経過

## 総務文教委員会

委員会に付託された案件は、議案2件でした。

平成30年度羽生市一般会計補正予算第1号の審査では、土木費寄附金において「寄附の受入等についての基準はあるのか。また、この寄附金を財源として、南羽生駅西口広場に屋外時計を設置することとなった経緯について何う。」との質疑に対して「寄附の受入等についての基準は特に設けていない。寄附者の意向や、地元からの要望等をもとに、庁内で検討した結果、南羽生駅西口広場に屋外時計を設置することとなったものである。」との答弁がありました。

次に、雑入において「消防団員退職報償金基金の内容と一連の流れについて何う。」との質疑に対して「消防団員が退職した際の報償金を支給するため、消防団員等公務災害補償等共済基金に、消防団員一人当たり年間1万9,200円、定数225人、合計432万円を年間の掛け金として支出している。消防団員が退職した際には、基金受入金として市の歳入に受け入



審査結果を報告する保泉委員長

れ、市の条例で定められた金額を退職報償金として支給するものである。」との答弁がありました。  
委員会では、これらの審査の結果、付託議案2件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

## 都市民生委員会

委員会に付託された案件は、議案3件でした。

平成30年度羽生市一般会計補正予算第1号の審査では、都市計画総務費において「産業団地整備事業支援業務委託料の内容と、予定している委託先について何う。」との質疑に対して「用地交渉等にかかる委託料である。委託先については、土地の権利者も概ね50人と多く、期間も短いことから、これまでの実績を勘案し、埼玉県土地開発公社を考えている。」との答弁がありました。

次に、羽生市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の審査では、「放課後児童支援員の内容と人数について何う。」との質疑に対して「放課後児童支援員は、学童保育の指導のための専門資格である。現在、市内公立学童保育室8か所に、11名が在籍している。平成32年度までに、全学童保育



審査結果を報告する島村委員長

室に2名以上を配置する予定である。」との答弁がありました。  
委員会では、これらの審査の結果、付託議案3件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

### 6月定例市議会傍聴者数

6月14日	1人
6月21日	4人
25日	29人
26日	3人
7月3日	2人
計	39人でした。

### 常任委員会傍聴者数

6月27日・・・0人  
計 0人でした。

### 《議会だより編集委員会》

- 委員長 斉藤 隆
- 副委員長 中島直樹
- 委員 奥沢和明
- 委員 保泉和正
- 委員 島村勉

ご意見などを  
編集委員会まで



☎048(561)1121  
(内線)513